

歯科最大級の医療法人誕生

佑健会と奉優会が統合

全国に23カ所の歯科医院を展開する国内最大規模の医療法人が誕生する。佑健会（千葉県習志野市、河野恭佑理事長）と奉優会（埼玉県川口市、吉田元理事長）の統合合意によるもので、10月25日には東京都江東区の東京ベイコート倶楽部ホテル&スパリゾートで調印式が開かれた。

佑健会は「患者様の一人心とりの関係をつくる」を基本理念に最適な治療を提供し続けることを追求し、5年後に全国100カ所に歯科医院を立ち上げる計画を掲げていた。その高い医院運営力と理念に賛



吉田理事長(左)と河野理事長

同した奉優会は法人全体のさらなる医療技術向上の追求と事業拡大が可能になると判断して統合合意に至った。

吉田氏は歯科界のデメンタ

ルトランスフォーメーション(DX)化への対応や新しい診療圏の獲得の必要性を感じる中で、「小規模医院のCS経営における限界を考え、上での結論」と統合について言及。

また「統合合併が歯科の業界の新しいスタイルの一つになると確信している」と述べ、より良い治療を患者に還元していく構えを見せた。

「河野理事長は人を大切にしてくれる方。トップに立つ者が夢を語り、姿勢を

示すことで周りの関係性も良くなり、互いに相乗できると考えている」としてさらなる飛躍を誓った。

河野氏は「やるからには日本一、世界一を目指して、店舗を展開していこうと思っている」と強調。吉田理事長の決断に感謝の意を表した上で、「まず3年で100〜150医院を目標に国内一位の医療法人をつくっていく」との意気込みを語った。

なお、調印式では、日本テクノロジーズベンチャーパートナーズ代表CEOの村口和孝氏が開会あいさつしたほか、統合を仲介した日本成長支援パートナーズ代表の都竜大氏と皆幸会代表の平澤伸泰氏、特別立会人として衆議院議員の衛藤征士郎氏、政策担当秘書の神田信宏氏が出席した。